



相浦川下流の穀倉地帯を展望する標高約一八〇メートルの高台の岳野町に、昔懐かしい半鐘付きの火の見櫓が残っています。むろん今は使われていませんが、丸太を組み合わせた高さ七メートルほどの櫓には、地域の人に非常事態を知らせた半鐘が吊り下げられています。

岳野町には、農業を中心に三十四戸がありますが、うち十二戸が近藤姓です。江戸時代初めのかんがい用ため池を平戸藩が造営したところ、この地に根を下ろした生え抜きの一族です。火の見櫓を案内していただいた近藤征一さん(七十五歳)は、藩営で一番大きい三号ため池のそばに住んでいます。

「昔は池の北の公民館前にあった椎の木に半鐘を吊り下げていましたが、椎の木を切ったので火の見櫓を作り、半鐘も吊りました」と近藤さん。以前、東に位置する踊石町の火事をこの火の見櫓で見て、住民に半鐘で知らせたこ

とがあったそうです。

平戸藩は、オランダ貿易が天領の長崎出島を持って行かれ、大きな収入減となったのを埋め合わせるために、領内で新田開発や耕地拡大に力を注ぎました。岳野では宮の本に明歴(一六五六年、明和元)一七六三年にすねわり、文化八(一八〇八)年におおけにため池を造成し、それぞれ、天号、地号、神号と名付けました。

これに呼応して、近藤一族も自費を投じて正徳二(一七二二年)に甲号ため池を造成。乙号、丙号、丁号と四つのため池を半世紀の間に次々と造成しました。いずれも北部の貴重な水源から取水するもので、機能的で効率的なかんがい用水が先の苦心と知恵を物語っています。

「今はネギ、ショウガなどを栽培しているがなかなか難しい。跡とり息子が継がせるかどうか迷ってしまいました」と近藤さんは話されました。

火の見櫓と半鐘 ● 岳野町

撮影・文 ● 筒井隆義

歴史散歩 第五七一回



市長日記

市制「111周年」を「3つのしいのまちづくり」のスタートの年に!

ことしは、佐世保市が明治35(1902)年に市制を施行して111周年を迎えます。「1」が3つ並ぶ縁起の良い年に佐世保に住んでいることは、市民の皆さまにとっても大変喜ばしいことだと思います。全部「1」が並ぶ年は100年後にも500年後にも巡ってきません。次に並ぶのは1000年後の1111周年。佐世保市はこの記念すべき年を大切にしていきたいと思っていますので、市民の皆さまも、ご自身のこの1年をどうぞ輝かしい1年にしてください。

佐世保市は本年を起点として「3つの重点プロジェクト」を推進し、「3つのしいのまち」をつくりあげていきたいと思っています。

3つの重点プロジェクトとは、①「1W4K」(※)を基調にした「成長戦略プロジェクト」、②医療・福祉・教育・防災などの重点施策に取り組む「安全・安心なまちプロジェクト」、③町内会活動や生涯学習活動、市民協働による活動などを推進していく「地域の絆プロジェクト」。そして、「3つのしいのまち」とは「美しいまち」「楽



「美しいまち」
「楽しいまち」
「おいしいまち」

いまち」「おいしいまち」です。

このようなまちは、人が住み続けたくなるまち、訪れたいまちだと思います。そんなまちを作っていくためには、市民の皆さん1人1人が「そういうまちにしたい」という思いを持ち、さまざまな場面でまちづくりに参画し、行動していただくことが欠かせません。

本市では、この「市制施行111周年」の年をただ縁起の良い年に終わらせることなく、3つのしいのまちづくりのスタートの年にしていきたいと思っていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

※1W4K 「W」は、本土最西端という本市の地理的特性を表す「WEST」の頭文字。この地の利を生かし、「観光の拠点」「東アジアとの交流拠点」「西の防衛拠点」などを目指します。「4K」は、「企業(Kigyo)立地の推進」「観光(Kanko)の振興」「基地(Kichi)政策」「国際(Kokusai)戦略(東アジアとの経済交流、国際航空・港湾整備)」の頭文字。「成長戦略プロジェクト」に位置付けており、重点的に取り組みます。

徳育通信 11

できることから、まずは始めましょう!

佐世保中央高校では、人のつながりの第一歩は「あいさつ」であると考え、「くもり空 あいさつ一つで 青空に」をスローガンに掲げ、現在、一徳運動に取り組んでいます。

徳育の取り組み方については、校内の先生からなる委員会で話し合いを行いました。委員会では、「徳育にはあいさつが大切」という意見はすぐにとまりましたが、具体的な方策については、なかなか答えが出ませんでした。

そのような状況でしたが、「まずはできることから始めてみよう」ということで、本校では、登下校時に「あいさつ運動」を行ったり、職員向けの「一徳通信」を発行したりして、徳育の取り組みを始めました。また、「面と向かってのあいさつは照れがあ

るのでは…」という意見もあり、清掃活動をしながらあいさつを行う「ながらあいさつ」運動にも取り組んでいます。

本校では、このように試行錯誤しながら活動を始めましたが、生徒たちがあいさつを交わす場面が徐々に増えてきたように感じています。また、自主的にあいさつ運動に参加してくれる生徒も現れています。徳育を進めることは難しい面もありますが、まずは大人から、そして、できることから始めることが大切であると思います。



佐世保中央高等学校 教頭 久保 憲司

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!

動物を飼う前に

飼い主としての心構えはできていますか?

動物を飼うということは、10年を超えるかもしれないその一生に責任を持つということです。人間社会のルールに動物を引き込むことにはなりますが、当然動物はそのルールを理解できません。飼育動物のトラブルは、全て飼い主の責任です。

動物は「かわいい」「かわいそう」という気持ちだけでは飼えません。習性を理解し、最後まで責任を持って飼うことができるのか、家族全員でよく考えましょう。

- ルールに沿ったしつけができますか?
- ふんなどの始末をきちんと行えますか?
- 病気の予防(注射)や治療に対応できますか?
- 避妊や去勢について考えていますか?
- 家具や家屋へのいたずらや傷を許せますか?
- 旅行など留守の際の預け先はありますか?



生活衛生課 ☎24-1111

人の動き 1月1日 現在

- 総人口 258,298人(-132人)
男性 121,161人(-64人)
女性 137,137人(-68人)
- 世帯数 105,503世帯(-75世帯)
- ※12月中の動き
転入 509人、転出 541人
出生 163人、死亡 263人

させぼ市政だより

- テレビ (毎週土曜)
NBC・NIB→9時25分~30分
KTN・NCC→11時40分~45分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分~30分
FM長崎 火曜 9時5分~10分
FMさせぼ 火曜10時30分~35分
日曜 9時30分~35分
- 新聞
長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>



携帯サイト